

## 必要経費の目安

ご旅行代金の他に別途下記の料金がかかります。  
※詳細は、渡航手続き書類にてご案内申し上げます。

- ◆空港施設使用料 / 国際観光税 / 海外空港税・燃油特別付加運賃 (30,000円) 上記は2025年11月現在の金額です。航空券の発券時点でレートは変動いたします。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
- ◆渡航手続き諸費用 (パスポートを新規取得、更新の方) : パスポート新規申請代 (5年用 11,000円 / 10年用 16,000円 / 各自治体の戸籍謄本・住民票発行手数料や写真代別途要) 中国入国にはパスポートの残存有効期間が入国時に6ヶ月以上が必要です。(12週間以上の有効期限が望ましい)
- ◆お一人部屋追加料金 : 35,000円 (ホテルは基本2名一室です)  
※お一人参加で相部屋をご希望の場合、最終的な部屋割りによってはやむを得ずお一人部屋追加料金を頂戴することがございます。予めご了承くださいませ。
- ◆任意の海外旅行保険
- ◆超過手荷物料金 : 規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金
- ◆個人的費用 : 旅程表に明記されていないものの費用 (食事代、飲み物代・自由行動時の諸費用等)
- ◆ご自宅～発着空港までの交通費  
※2025年11月現在、中国入国ビザ免除措置がとられていますが、今後、再び入国ビザが必要と変更になった場合はビザ取得代が別途かかります。



## ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。この旅行は2025年11月1日現在を基準としています。

■旅行契約の解除  
参加者が最少催行人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の23日前迄にお知らせします。  
<取消料>  
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。  
<解除時期・取消料>

契約の解除期日	取消料
旅行開始日前日から起算して遡って30日前以降	旅行費用の20%
旅行開始日前々日以降	旅行費用の50%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行費用の100%

## ご旅行要項

- 旅行代金に含まれるもの  
①企画手配料金および手配料金 ②交通費 : 旅程に明示した航空運賃、旅程に明示した専用車料金 ③宿泊費 : 旅程表記載のホテル又は同等クラスのホテル (弊社基準) の基本宿泊料および税、サービス料 (基本2名一室)  
④食事代 : 旅程表明示 ⑤見学施設の入場料  
⑥現地ガイド費用 ⑦添乗員同行費用
- 旅行代金に含まれないもの  
①旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等 ②個人的費用 : 旅程表に明記されていないものの費用・食事の時の飲み物代・自由行動時の諸費用等  
③航空会社が課す日本港施設使用料・国際観光税・海外空港税・燃油特別付加運賃 (30,000円) 2025年11月現在※航空券の発券時点でレートは変動します。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。  
⑥お一人部屋料金 : 35,000円  
⑦日本国内の交通費、前泊の費用  
⑧海外旅行傷害保険料

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで  
〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7  
ヒューリックみなとみらい11F-4  
総合旅行業務取扱管理者 : 西須 輝理

営業時間 : 月～金曜日 / AM10:00～PM6:00  
(休業日 : 土日・祝日)  
ホームページ : <http://www.fits-tyo.com/>

## お申込方法

- ①【紙で仮予約の場合】下記の予約票にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送またはFAXでお送りください。予約票が届き次第、旅行社より取引条件説明書面とお申込書を他の必要書類とともにお送りいたします。
- ②【ウェブで仮予約の場合】下記QRコードにアクセスし、仮予約フォームを送信下さい。
- ③弊社よりお送りするご案内書面に記載の銀行またはゆうちょ銀行に、**申込金50,000円** (旅行代金内金) をご送金ください。(申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込)

株式会社 富士国際旅行社 宛

**参加予約票** 現場に行き考える 中国廈門・金門島・福建省をめぐる旅 ★

ご希望の出発日をご選択ください→ ( 2026年 □1月19日(月)発 ・ □4月19日(日)発 )

パスポート ローマ字表記	性別	生年月日	年 月 日 ( ) 歳	ウェブ仮予約はこちらから↓
氏名	男・女	パスポート	有効旅券 (パスポート) 【有・無】 パスポート番号: 有効期限: 年 月 日	
住所	(〒 - )			
連絡先	【tel】 ( ) -	【fax】 ( ) -		
	【携帯】 -			
	【e-mail】			

現場に行き考える

# 中国廈門・金門島・福建省をめぐる旅

5日間



台湾金門島からの中国廈門の風景

旅行期間 2026年

- ① 1月19日(月)～1月23日(金) 5日間
- ② 4月19日(日)～4月23日(木) 5日間

旅行費用 279,000円

※費用の他に航空便費用に付随する海外空港税・航空保険料等・成田空港施設使用料・保安料別途30,000円がかかります。発券時のレートにより変動いたします。

実施人数 25名様  
(最低実施人数15名様)

※締切日以降も航空便やホテルに空席があればご参加いただけます。ただし空席状況によりご料金が変わる場合がございます。お問い合わせください。

申込締切 ①2025年12月19日(金)  
②2026年3月20日(金)

添乗員 成田空港より同行します

## 旅のポイント

- ◇高速船で金門島を日帰り見学 ◇世界遺産客家土楼をじっくり見学
- ◇コロンス島、南普陀寺、胡里山砲台など廈門の見どころを満喫!

Peace Green Humanity  
(株)富士国際旅行社

旅行企画・実施

〒231-0062  
神奈川県横浜市中区桜木町 1-1-7  
ヒューリックみなとみらい11F-4

# 現場に行き考える 中国廈門・金門島・福建省をめぐる旅

日付	都市	交通機関	行程・宿泊地・食事(朝・昼・夕)
① 1/19 4/19	成田または羽田集合/発  廈門空港着/発 ホテル着	航空便  専用車	成田または羽田空港集合 (集合時刻:11時~13時予定)※1ヶ月前決定 空路 ✈️ 直行便または経由便にて中国廈門空港へ 【時差:日本側が1時間進む/所要3時間55分】  ホテル着、チェックイン  廈 門 泊 朝×昼×夕機
② 1/20 4/20	廈門五通港着/発  金門港着/発  金門港着/発 廈門五通港着/発	フェリー  専用車  フェリー 専用車	フェリーで金門島へ  <金門島見学> * 湖井頭戦史館、双口海辺 * 金城民防坑道 * 市内街歩き(軍事統制時代の商業発展)  再びフェリーで廈門へ  廈 門 泊 朝○昼○夕○
③ 1/21 4/21	ホテル発 客家土楼着	専用車	終日:世界遺産 客家(ハッカ)土楼  廈 門 泊 朝○昼○夕○
④ 1/22 4/22	コロンス島  廈門市着	専用車	* 世界遺産の鼓浪嶼(コロンス島)  <廈門市内観光> * 南普陀 * 胡里山砲台 * 環島路  廈 門 泊 朝○昼○夕○
⑤ 1/23 4/23	ホテル発 廈門空港着  廈門空港発 成田または羽田着	専用車  航空便	早朝:ホテルチェックアウト、廈門空港へ 航空会社チェックイン  空路 ✈️ 直行便または経由便にて帰国の途へ 成田または羽田空港着後、解散 (到着時刻:13時30分~20時00分予定)※1ヶ月前決定  朝機 昼×夕×

- 手配上・現地のご都合により、訪問日時や順序が入れ替わる場合がございます。
- 旅程表のマーク: ○=食事付き、X=自由食、機=機内食 ●利用航空会社:廈門航空、JAL、中華航空 など
- 宿泊予定ホテル:廈門=維洛拉大酒店(基本2名1室) 又は同等クラスのホテル(弊社基準)

## 中国基本情報

面積:約960万km<sup>2</sup>  
 約14億828万人(2024年末国家統計局、香港、マカオを除く)  
 言葉:中国語 時差:日本より1時間遅れ  
 電圧:220ボルト(V)  
 ※日本とは電圧が異なります。  
 通貨:「人民元」補助通貨「角」「分」  
 1元=10角=100分=約21.4円(2025年10月)

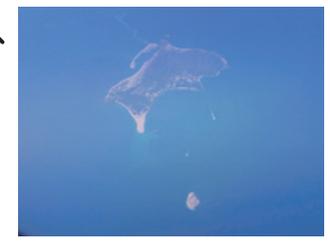
気候:  
 日本の約26倍の国土をもつ中国は、気候も寒帯から亜熱帯まで存在しています。今回訪れる廈門は、亜熱帯モンスーン気候に属し、年間を通じて温暖で湿度が高いのが特徴です。冬は風が冷たく寒暖差があるため、セーターやコート、厚手のカーディガンなど、重ね着しやすい服装がベストです。春は日中は薄着でも大丈夫ですが、朝晩の冷え込みに備えて調整できる長袖シャツなど羽織ものを持参すると良いでしょう。

## 台湾・金門島

金門島は、西は中国大陸福建省の廈門(アモイ)市から2km、東は台湾海峡を隔てて台湾島と約200kmの位置にあります。金門島の他に烈嶼(小金門)、大担、二担など15の島で金門群島と呼ばれています。そのうち3つの島は中国の直接統治になっており、台湾の金門県は12個の島々で構成され、総面積は約150km<sup>2</sup>です。亜熱帯気候に属し、年平均気温はおおよそ21度。朝晩と日中の気温差が大きいのが特徴です。

日中戦争中は日本軍に占領されていました。日本の降伏後、第二次国共内戦が勃発。「古寧頭戦役(こねいとうせんえき)」(1949年)をはじめ、金門島は一時期中華民国政府と中国共産党の対立の最前線になり、砲撃なども続いていました。中華民国政府が台湾へ移って以降は、中華民国軍の軍事的拠点となり、一般観光客による金門島への出入りは厳しく制限されます。島には当時最大約10万の軍隊が駐屯し、住民は軍事施設の建設など、軍隊を支えるために駆り出されました。1987年に台湾戒厳令解除された後、現在は台湾島だけでなく中国からも多くの観光客が訪れる島となっています。

島には多くの戦争遺跡が残され、歴史を伝えるため広く公開されています。かつての地下坑道、要塞、トーチカ、戦車、大砲などを見ることができ、歴史を学ぶ場として活用されていることが分かります。また、伝統的な古集落も金門島の見どころの一つ。独特な自然風景、台湾島とは一味違う料理をお楽しみいただけます。



## 中国 見学先紹介

### 世界遺産 客家(ハッカ)土楼

福建省で見られる「土楼」とは、「土の建物」という意味で、主に木材と土壁で造られた家屋です。「客家土楼」と呼ばれる土楼は、北方からの移民である客家(ハッカ)の一族が戦乱を逃れて移動する中で建造した、要塞型・巨大集合住宅のことです。2008年、46棟の土楼がユネスコ世界遺産に登録されました。「生活と防衛を集団で行う組織の、特徴的な伝統的建築と機能の例として、またその環境と調和したあり方に関して」優れた点が認められています。



### 世界遺産 鼓浪嶼(コロンス島)

廈門の西に浮かぶ「コロンス島」は2017年に世界文化遺産に登録された、島全体が岩でできた小さな島です。18世紀に各国の領事館が置かれたため、異国情緒あふれる街並みが現在も残っています。島へのアクセスはフェリーのみで、島内には車やバイクの乗り入れが禁止されており、ゆったりとした時間が流れています。



## 福建省 廈門(アモイ)市

廈門市は、中国の南東沿海、福建省の東南部、台湾海峡の西岸に位置する港湾都市で、廈門島・コロンス島・大陸九竜江北岸の沿岸部からなります。中国の五大経済特区の一つに指定され、省レベルの経済管理権限と地方立法権を有し、先進工業都市として、また、国際観光都市として発展しています。唐代に創建され、清の康熙帝によって再建された南普陀寺や、清光緒20年に築かれた要塞の胡里山砲台など、歴史を感じられるスポットが見どころの一つ。廈門港は自然に恵まれた海峡性天然良好で、古くから東南沿海における対外貿易の重要な港となっています。

